

秋田県立増田高等学校中期ビジョン（令和3年度から令和7年度までの5か年計画）

I 本校が目指す姿

1 学校の現状や課題

- (1) 本校は1925年に創立し、令和7年度（2025年度）に100周年を迎える伝統校です。100周年という大きな節目を迎えるにあたり、「元気な増田高校」づくりを目指し、学習や学校行事、部活動など、全ての教育活動において活性化を図っているところです。
- (2) 本校の総合学科は、生徒の進路希望を実現するために、人文・社会科学、自然科学、芸術・文化、生活・福祉、ビジネス会計の5つの系列を設定し、生徒のニーズにあった選択と専門性の深化を図っています。
- (3) 本校の農業科学科は、県内屈指の複合農業地帯である横手・湯沢地区を支える人材を育成するために、作物、果樹、野菜、草花の4つの部門を設定し、専門的・実践的に学習しています。
- (4) 総合学科、農業科学科ともに、多様な進路に対応するためにキャリア教育、探究的な学習、体験活動等の充実を図り、進路目標を実現できるようにする必要があります。
- (5) 本校はおおらかで優しく純朴な生徒が多いのが特徴です。社会が急激に変化し予測困難な時代を生き抜くために、主体的・対話的で深い学びの視点から組織的かつ継続的に授業改善を図るとともに、個別最適な学びや協働的な学びをとおして学力の伸長を図り、生徒一人一人の可能性を引き出して自立に向けた資質・能力を育む必要があります。

2 学校を取り巻く将来の状況の予測

- (1) 地域の人材や資源を生かした地域力の向上や地域コミュニティの活性化など、横手・湯沢地区を支えるため、本校への期待が今後さらに高まることが予想されます。
- (2) 横手・湯沢地区の中学校卒業予定者は今後も減少していくことが予測されています。第七次秋田県高等学校総合整備計画（後期計画）では、本校は雄物川高校、平成高校とともに再編整備構想の対象となっているため、3校の統合を見据え地域を活性化し発展に寄与できる人材を育成する学校づくりをより一層進めていく必要があります。

3 スクール・ポリシー

(1) 【目指す学校像】

「元気な増田高校」：ふるさとを愛し、たくましく生きる力を備えた心豊かな人間を育成する学校

(2) グラデュエーション・ポリシー【目指す生徒像】

- ア) 心身ともに健康で、思いやりのある心豊かな人間
- イ) 自ら学び、自ら考え判断し、主体的に行動できる人間
- ウ) 正しい勤労観を持ち、郷土の発展に貢献する人間
- エ) 社会の変化に柔軟に対応し、21世紀をたくましく生き抜く人間

<育成を目指す資質・能力>

ア) 社会性	イ) 主体性	ウ) 協働性	エ) 探究性
・コミュニケーション力 ・情報発信力 ・社会参画力 ・対話力 ・規律性	・意志決定力 ・自己管理能力 ・自己有用感 ・挑戦力 ・粘り強さ、遅しさ	・地域貢献意識 ・柔軟性 ・コラボレーション力 ・チームワーク力 ・状況判断力	・課題発見力 ・情報活用力 ・創造性 ・イノベーション ・クリティカルシンキング

(3) カリキュラム・ポリシー【本校の学び】

～ふるさとを愛し、たくましく生きる力を備えた心豊かな人間を育成するために～

- 1) 秋田県唯一の総合学科・農業科学科併置校として、各学科の特色を活かした教育を実践します。
 - ① 各学科ならではの選択科目、学校設定科目を効果的に運用します。
 - ② 各学科・系列において、資格・検定取得の学習を通して、多様な進路選択につなげます。
 - ③ 各学科・系列間での横断的な活動を実施します。
- 2) 主体的・対話的で深い学びを実感できる授業を実践します。
 - ① 基礎学力の確実な定着に向けた「わかる授業」を実践します。
 - ② 知識だけでなく、学ぶ意欲や思考力、判断力、表現力を含めた確かな学力の定着に向けて、ICT機器の効果的な活用を図ります。
 - ③ 生徒同士の教え合い、学び合いの機会を充実します。
- 3) 教育活動全体を通して、地域連携・地域貢献に取り組みます。
 - ① 各学科・系列の専門的な学びを通して、地域貢献につながる取組を推進します。
 - ② 地域連携に基づいた、学校行事やインターンシップ、ボランティア活動を実施します。
 - ③ 地域の教育資源を活用した学習の機会を充実します。
- 4) 自ら課題を設定し、解決を目指す探究的な学習の充実を図ります。
 - ① 「総合的な探究の時間」を通して、課題を設定し仮説を立て、検証していく課題解決型の学習を充実します。
 - ② 課題研究発表会等、探究的な学習の成果を発表する機会を充実します。

(4) アドミッション・ポリシー【求める生徒像】

<総合学科>

- 1) 学科の内容を理解し意欲的に学習に取り組む生徒
- 2) 自己理解のもとで自ら目標を設定し、その目標達成のために継続して努力できる生徒
- 3) 生徒会活動や部活動に対して熱心に向き合い、入学後も継続して活動に取り組む生徒

<農業科学科>

- 1) 農業の専門学習に対して意欲的に学習に取り組む生徒
- 2) 自己理解のもとで自ら目標を設定し、その目標達成のために継続して努力できる生徒
- 3) 生徒会活動や部活動に対して熱心に向き合い、入学後も継続して活動に取り組む生徒

II 5年間を通しての具体的な目標と取組

(1) 総合学科

- ① 進学希望達成率60%以上を目指します。
- ② 大学入学共通テストを活用した入試の他、総合型選抜入試や学校推薦型選抜入試等、多様な評価尺度を重視した入試を積極的に活用し国公立大学進学者数5人を目標とします。
- ③ 就職希望者の県内企業への就職率75%以上を目指します。

(2) 農業科学科

- ① 農業関係先への進学率及び就職率計40%以上を目指します。
- ② 農業系大学進学率10%以上、うち国公立大学進学者数2人を目標とし、地元に戻って貢献できる人材を育成します。
- ③ 就職希望者の県内企業への就職率75%以上を目指します。

(3) 部活動（クラブ活動）

- ① 運動系部活動を強化します。硬式野球部、陸上競技部、男子バレーボール部をはじめ、複数部のインターハイ等全国大会出場を目指します。
- ② 文化系部活動を強化します。全国高校総合文化祭代表やコンクール等各種大会での入賞を目指します。また、地域との交流・連携を通して地域文化の発展に貢献します。
- ③ 日本学校農業クラブ全国大会の優秀賞1人以上または団体の入賞を目指します。

(4) 教員の資質・能力

- ① ICT機器を活用した授業改善を推進するとともに生徒の個別最適な学びや協働的な学びを実現する資質・能力の向上に努めます。
- ② 特別支援教育に関する研修の充実を図り、支援が必要な生徒にきめ細かく対応できる資質・能力の向上に努めます。

令和3年9月策定
令和5年5月一部改訂